



令和元年11月25日

## 令和元年度第2回高等学校卒業程度認定試験の再試験における 運営上のミスについて

令和元年度第2回高等学校卒業程度認定試験（令和元年11月9日（土）、10日（日）に実施）については、台風19号の影響等により、やむを得ず受験できなかった方を対象に、11月23日（土）、24日（日）に全国5会場で再試験を実施しました。

再試験の対象者（45名）には、当初の試験実施日（11月9～10日）の前に受験票を、再試験希望後に再試験のお知らせに関する書類を、それぞれ文部科学省からお送りしていますが、このうち再試験のお知らせに関する書類に、11月24日（日）の時間割の一部を誤って記載していたことが判明しました。

このため同日、該当する科目（「生物基礎」「地学基礎」）の受験者（合計13名）に記載の誤りをお詫びした上で、理解が得られた受験者（11名）については受験票に記載された時間割により試験を実施し、都合により再試験のお知らせに関する書類に記載された時間割での実施を希望した受験者（「生物基礎」「地学基礎」各1名の計2名）についてはその時間割により試験を実施しました。

文部科学省としては、このような運営上のミスが生じたことをお詫びいたしますとともに、再発防止の徹底に努めてまいります。

### 記

#### 1. 再試験の概要

- 日程 令和元年11月23日（土）、24日（日）
- 対象者 45名
- 試験会場（全国5会場）

都道府県	会場名
宮城県	宮城教育大学
茨城県	茨城県水戸生涯学習センター
東京都	文部科学省
長野県	長野県庁
愛知県	愛知県生涯学習推進センター

## 2. 再試験のお知らせに関する書類における時間割の誤記について

認定試験の受験者には当初の試験実施日（11月9～10日）の前に受験票をお送りしており、この受験票には正しい時間割が記載されています。これに加えて再試験対象者（45名）には、再試験希望後に文部科学省から再試験のお知らせに関する書類（再試験の日程、会場案内図等）を郵送しています。このうち再試験のお知らせに関する書類において、第2日目（11月24日（日））の時間割について、正しくは4時限目「生物基礎」、5時限目「地学基礎」、6時限目「化学基礎」であるところ、誤って4時限目「化学基礎」、5時限目「生物基礎」、6時限目「地学基礎」と記載していたことが受験者からの指摘により判明しました。

第2日目 (11/24)	正しい時間割 (受験票に記載)	再試験のお知らせに誤って 記載されていた時間割
14:00～14:50	<u>生物基礎（受験者9名）</u>	化学基礎（受験者0名）
15:20～16:10	<u>地学基礎（受験者2名）</u>	<u>生物基礎（受験者1名）</u>
16:40～17:30	化学基礎（受験者0名）	<u>地学基礎（受験者1名）</u>

このため同日、該当する科目（「生物基礎」「地学基礎」）の受験者（合計13名）に対し、会場での試験前のアナウンスと、午後からの科目のみを受験する受験者に対しては個別に電話連絡により誤記について説明しお詫びしました。

その上で、理解が得られた受験者（13名のうち11名）については、受験票に記載された正規の時間割により試験を実施し、御本人の都合により再試験のお知らせに関する書類に記載された時間割での受験を希望された受験者（「生物基礎」「地学基礎」各1名の計2名。いずれも東京都会場での受験者。）についてはその時間割により試験を実施しました。これにより受験者全員が予定していた科目を受験しました。

なお、通常は試験終了後には受験者が問題冊子を持ち帰ることができることとしていますが、今回は同一科目の試験を異なる時間帯に受験する受験者同士の接触を防ぐため、「生物基礎」「地学基礎」については試験終了後に問題冊子も回収しています。（受験者には後日、郵送にてお返しすることとしています。）

## 3. 再発防止の徹底

今回のミスの発生は、再試験のお知らせに関する書類の内容について、担当課において二重、三重の確認ができていなかったことによるものと深く反省しております。

このようなミスが生じたことをお詫びいたしますとともに、再発防止の徹底に努めてまいります。

<担当> 総合教育政策局生涯学習推進課  
課長補佐 石川（内線 3721）  
認定試験第二係主任 嘉数（内線 2024）  
電話：03-5253-4111（代表）  
03-6734-3267（直通）